# 福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	臨床工学センター(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 31: 496-497
Issue Date	2021-03-19
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1530
Rights	©2021 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-05-03T20:22:29Z

## 研究発表等

#### [研究発表]

村上祐子,阿部宣子,作山美郷,仲野 宏,星 信大,野田 勝,岡野舞子,立花和之進,吉田清香,喜古雄一郎,橋本優子,大竹 徹.被包型乳頭状癌の2例.第10回DCIS研究会;20190126;長崎.

## [特別講演]

**村上祐子**. 乳がんと予防、早期発見の重要性. 福島県 学生がん予防サポーター養成セミナー; 20190930; 会津若 松.

# 臨床工学センター

# 研究発表等

#### [研究発表]

平野麻衣,福原真喜,佐々木紀尚,福原之博,出羽 仁. 医療スタッフに帯電した静電気によりエラーが発生した医療機器の一例と対策. 福島県臨床工学技士会平成30年度学術大会;20190428;福島.

清野泰司, 樋口 治, 阿部勇飛, 半澤 翔, 石川祐樹, 福原真喜, 佐々木紀尚, 荒 宏樹, 遠藤綾子, 佐藤梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 三浦 晋, 出羽 仁. 完全皮下植込み型除細動器の症例を経験して. 第29回日本臨床工学会: 20190518: 岩手.

福原之博, 今野秀胤, 福原真喜, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒 宏樹, 佐藤 梓, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 当院における ECMO 離脱に関する考察~111 症例を経験して~. 第29回日本臨床工学会; 20190519; 岩手.

荒 宏樹, 齋藤聖羅, 今野秀胤, 佐々木紀尚, 清野泰司, 佐藤 梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. カテコラミン誘発性多形成心室頻拍疑いの患者に対しての ECMO の検討. 38 回日本体外循環技術医学会東北地方会学術大会; 20190706; 宮城.

福原之博,吉田京香,今野秀胤,福原真喜,佐々木紀尚,清野泰司,荒 宏樹,佐藤 梓,佐藤貴美絵,出羽 仁. 植込み型補助人工心臓の機器教育に難渋した一症例。38回日本体外循環技術医学会東北地方会学術大会;20190706;宮城.

樋口 治,阿部勇飛,半澤 翔,石川祐樹,福原真喜,佐々木紀尚,清野泰司,荒 宏樹,遠藤綾子,佐藤梓,福原之博,佐藤貴美絵,三浦 晋,出羽 仁.PMTによりペーシングモードの変更を余儀なくされた1例. 第6回北海道・東北臨床工学会;20191020;山形.

#### [その他]

佐々木紀尚, 仙石貴文, 半澤 翔, 清野泰司, 荒 宏樹, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 手術室業務の効果を数値にする~当院のダヴィンチ手術について~. 第29回日本臨床工学会; 20190519; 岩手.

荒 宏樹. ECMO 管理を検討する. 東北 CE 集中治療研究会 ECMO 管理を考える; 20190825; 宮城.

# 痛み緩和医療センター

# 論 文

### [原著]

Kato D, Suto T, Obata H, Saito S. Spinal activation of tropomyosin receptor kinase-B recovers the impaired endogenous analgesia in neuropathic pain rats. Anesthesia and Analgesia. 201908; 129(2):587-586.

Suto T, Kato D, Obata H, Saito S. Tropomyosin receptor kinase B receptor activation in the locus coeruleus restores impairment of endogenous analgesia at a late stage following nerve injury in rats. Journal of Pain. 201905; 20(5):600-609.

#### [総説等]

Hayashida K, Obata H. Strategies to treat chronic pain and strengthen impaired descending noradrenergic inhibitory system. International Journal of Molecular Sciences. 201902; 20(4):822.

## 研究発表等

## [研究発表]

Hiroki T, Suto T, Ohta J, Saito S, Obata H. The plasticity of spinal  $\gamma$ -aminobutyric acid interneurons reduces analgesic effects of morphine in neuropathic pain. Society for Neuroscience Annual Meeting 2019; 20191020; Chicago, USA.

Ohta J, Suto T, Hiroki T, Obata H. Loss of endogenous analgesia leads to delayed recovery from incisional pain in a rat model of chronic neuropathic pain. Society for Neuroscience Annual Meeting 2019; 20191022; Chicago, USA.

大石理江子, 箱崎貴大, 三部徳恵, 小幡伸樹, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 上肢の閉塞性動脈硬化症に対し、胸鎖乳突筋深部の Fascia リリースで血流増加を測った一例. 日本区域麻酔科学会第 6 回学術集会; 20190419; 高知.

遠藤千麻, 大石理江子, 中野裕子, 星野 一, 三部徳恵, 佐藤 薫, 五十洲剛, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川